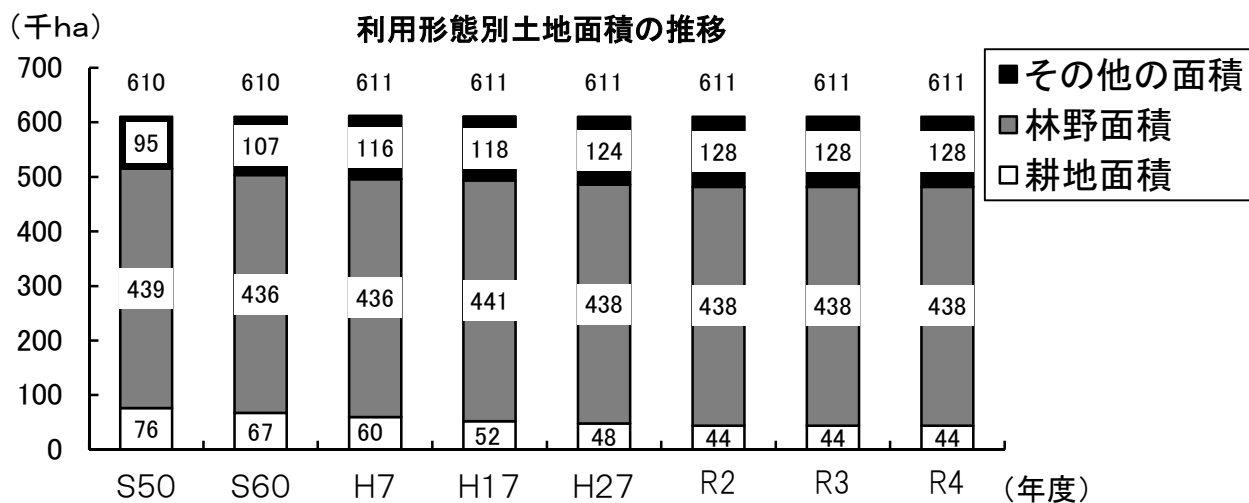


1. 森林資源の現況

(1) 土地利用（関連資料P21）

本県の林野面積は、438千haで、総土地面積611千haの72%を占め、林野率は全国平均の66%を上回っている。



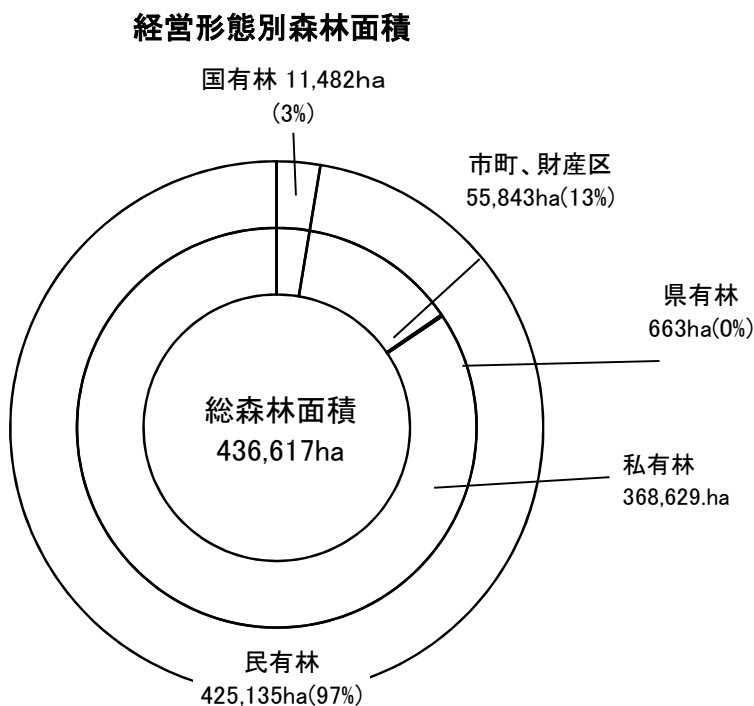
林野面積と林野率

区分	山口県	全国
林野面積	438千ha	24,770千ha
林野率	72%	66%

(資料)全国は2020農林業センサス

(2) 経営形態別森林面積（関連資料P22）

経営形態別は民有林が97%を占め、国有林は3%である。また、私有林は84%を占める。

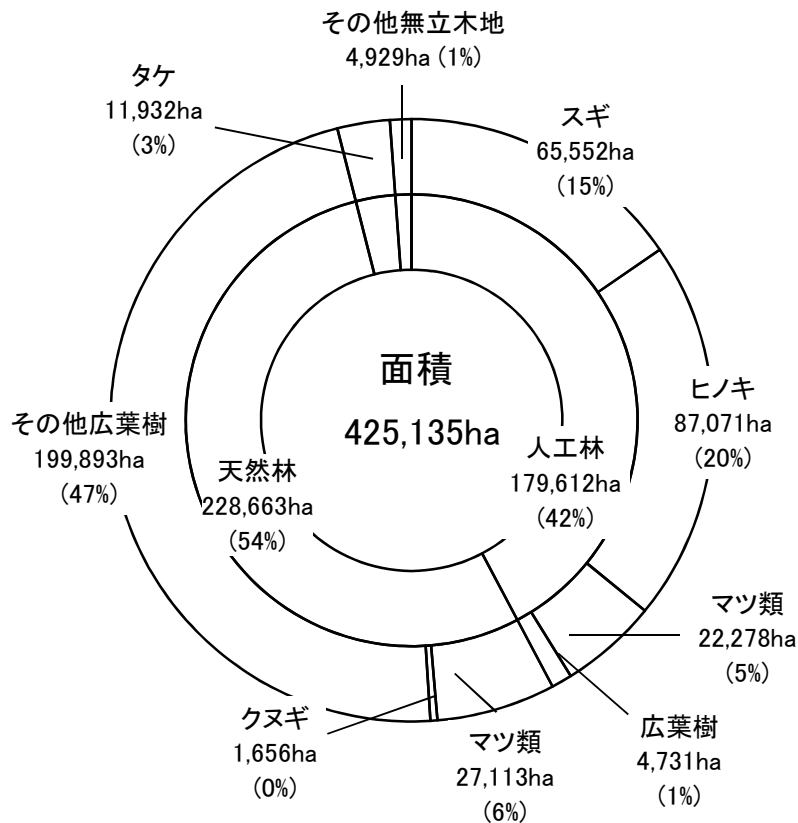


(3) 民有林の樹種別面積と蓄積（関連資料P24）

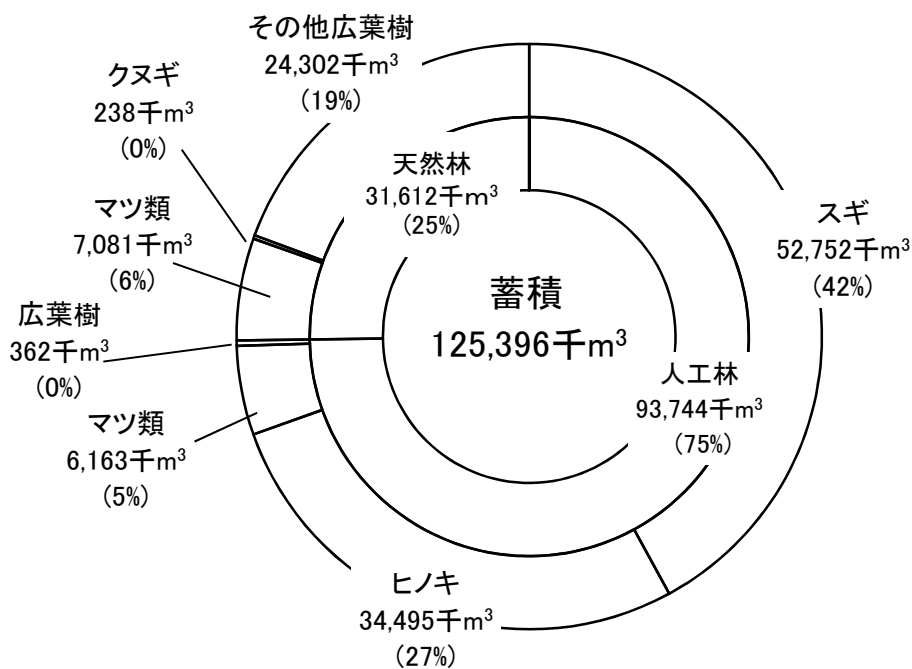
樹種別面積構成は、針葉樹が48%（スギ15%、ヒノキ20%、マツ類12%）、広葉樹49%、竹林等が3%であり、また天然林、人工林比較では、人工林が42%である。

樹種別蓄積構成は針葉樹81%（スギ42%、ヒノキ27%、マツ類11%）、広葉樹20%の割合である。

樹種別森林面積

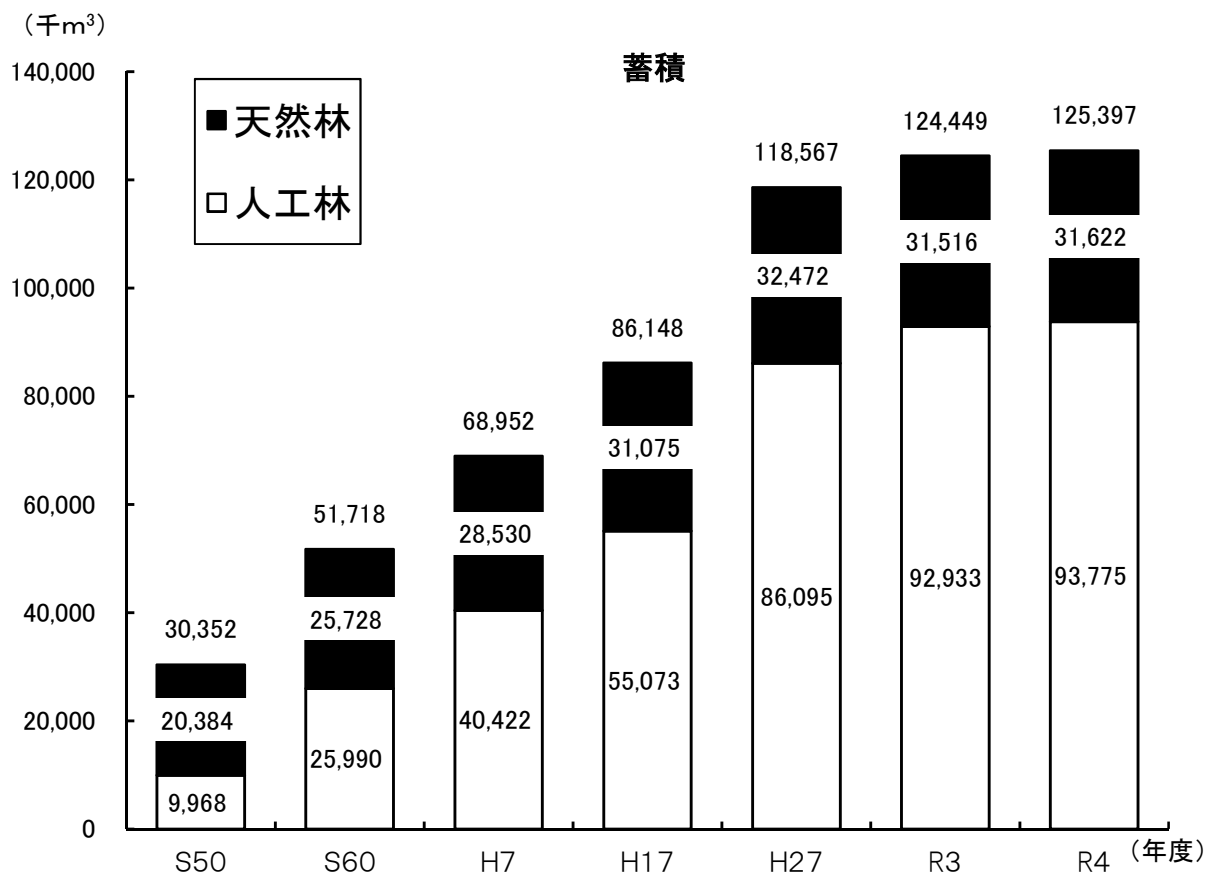
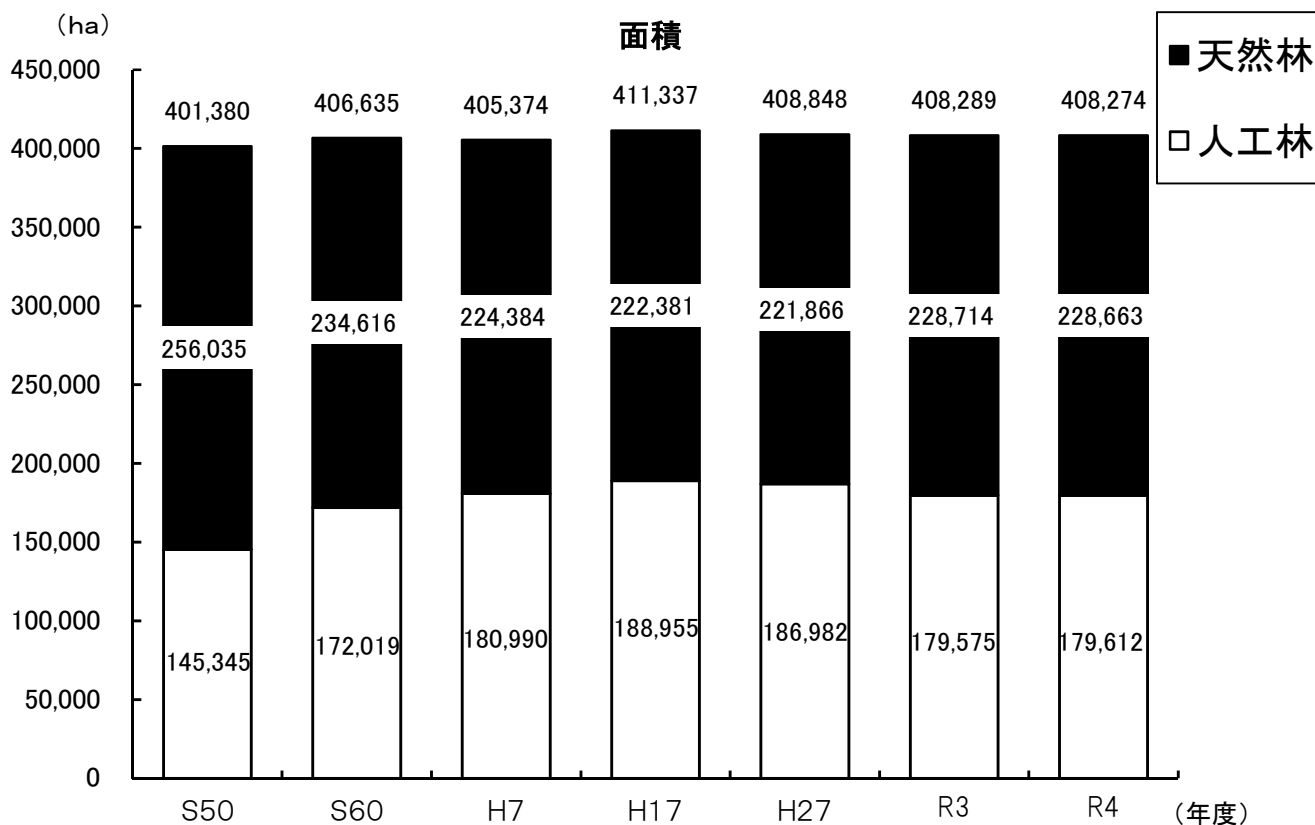


樹種別森林蓄積

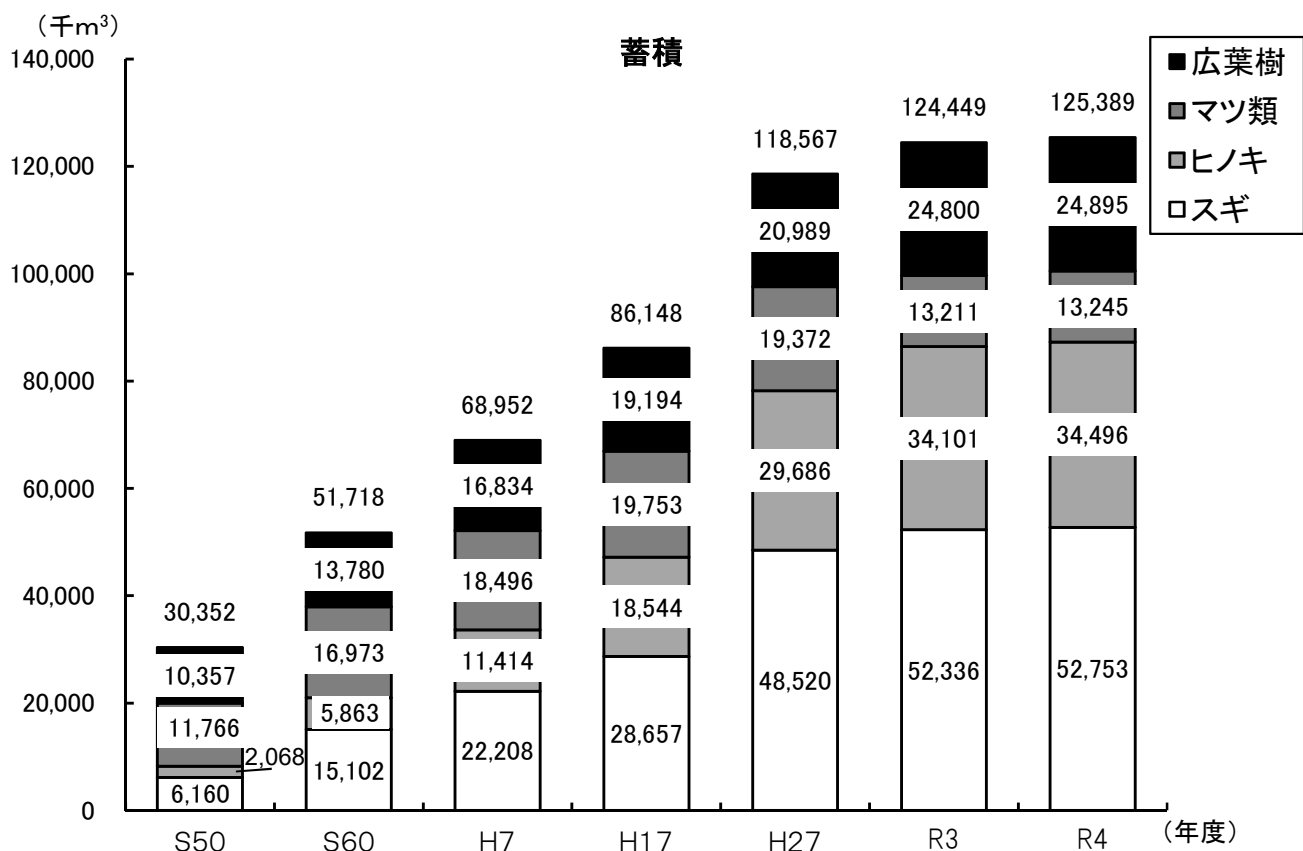
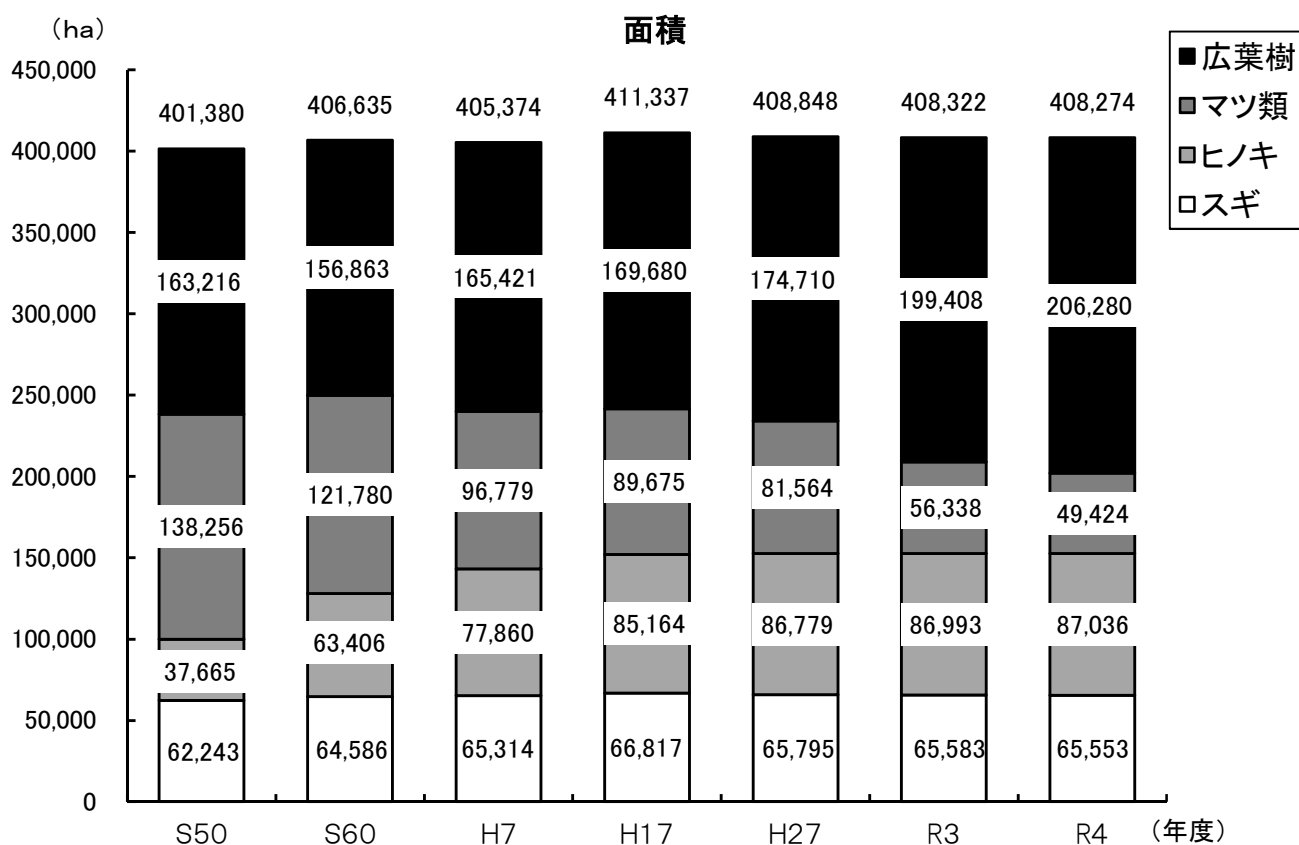


(4) 森林面積と蓄積の推移 (関連資料P24)

ア 人天別森林面積及び蓄積

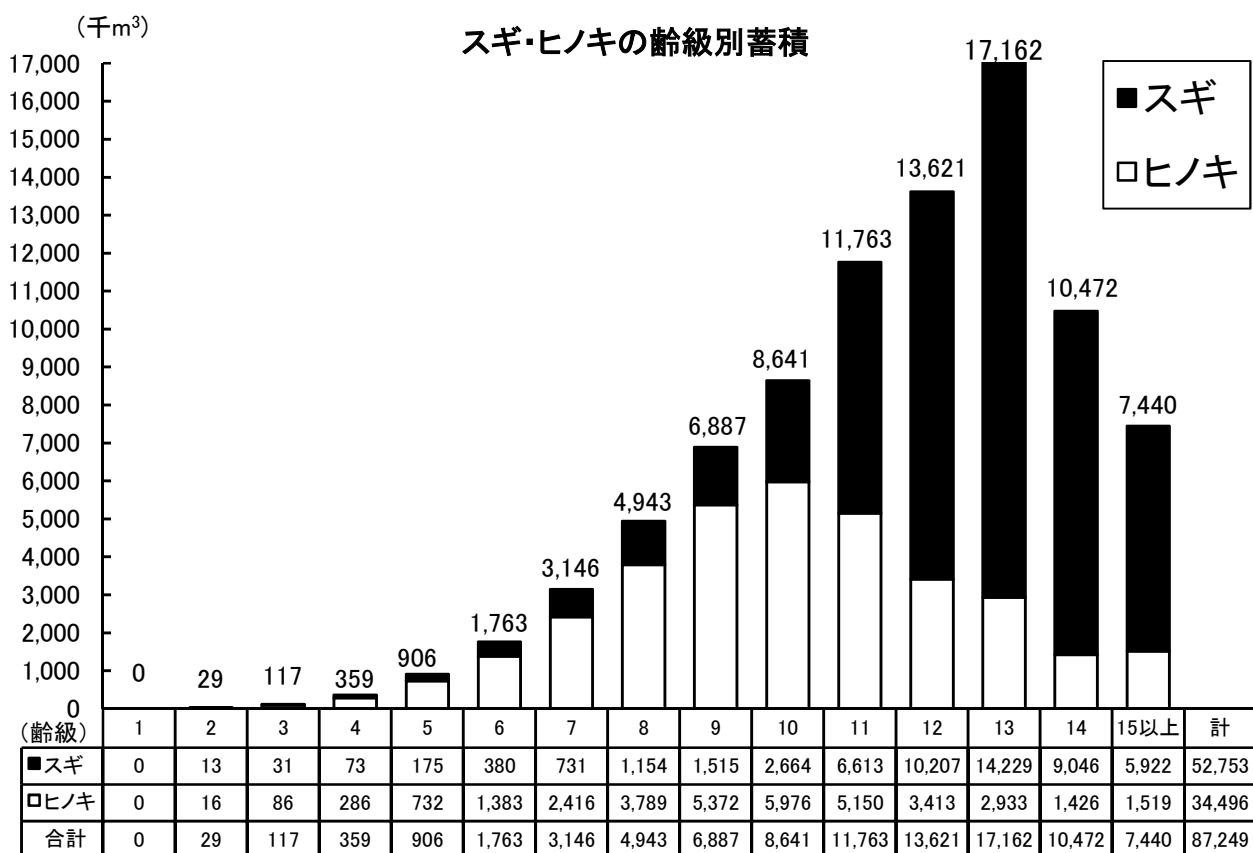
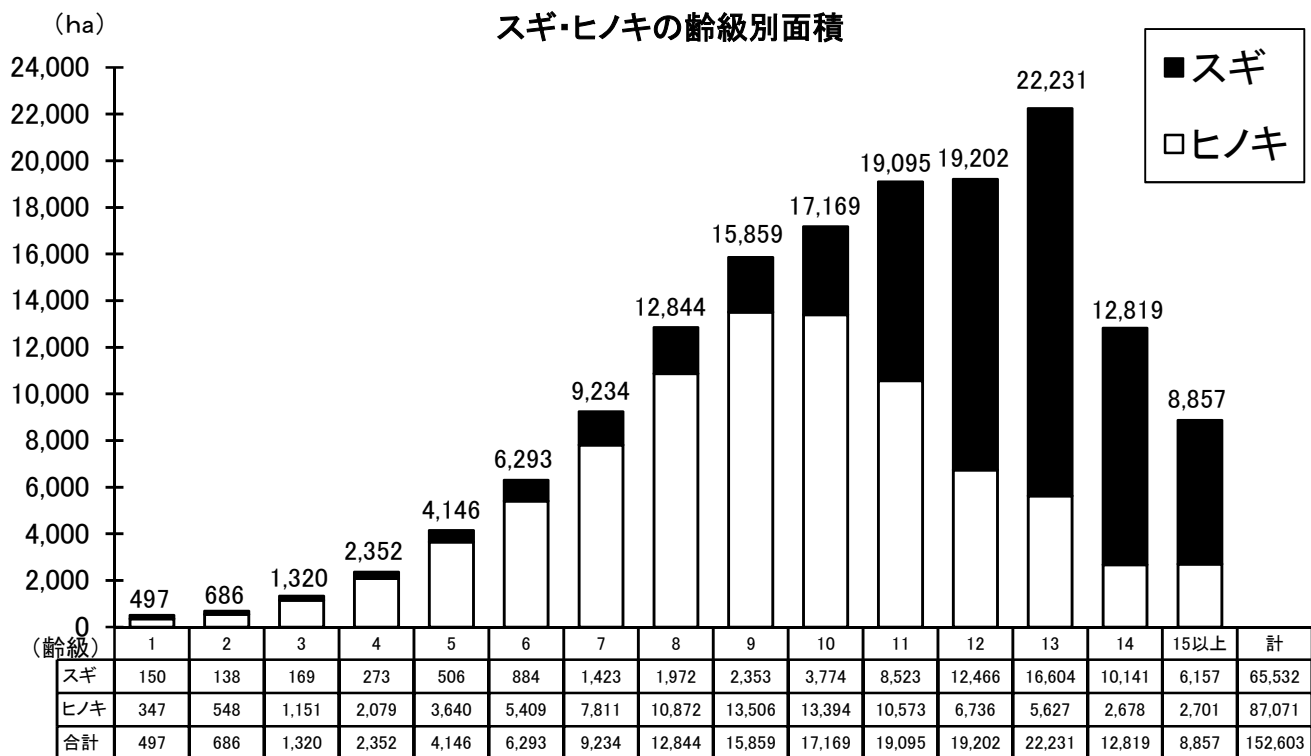


イ 樹種別森林面積及び蓄積



(5) 人工林(スギ・ヒノキ)の齢級構成 (関連資料P28)

人工林面積(スギ・ヒノキ)の齢級構成は、主伐期を迎えた10齢級(46年生)以上の森林が全体の65%を占めている

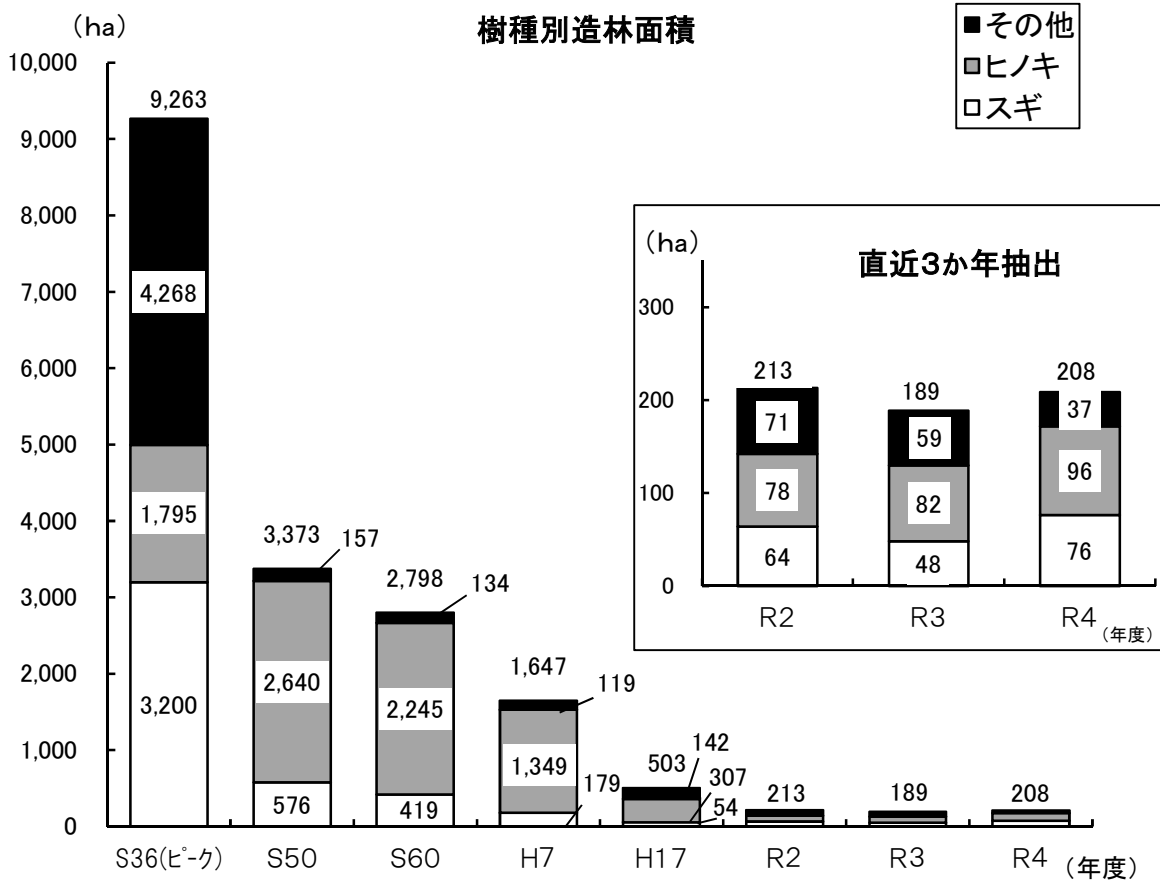


齢級: 林齢を一定の幅にくくったもの。一般に5ヶ年をひとくりにし、林齢1～5年生までを1齢級、6～10年生までを2齢級…と称する。

2. 造林等

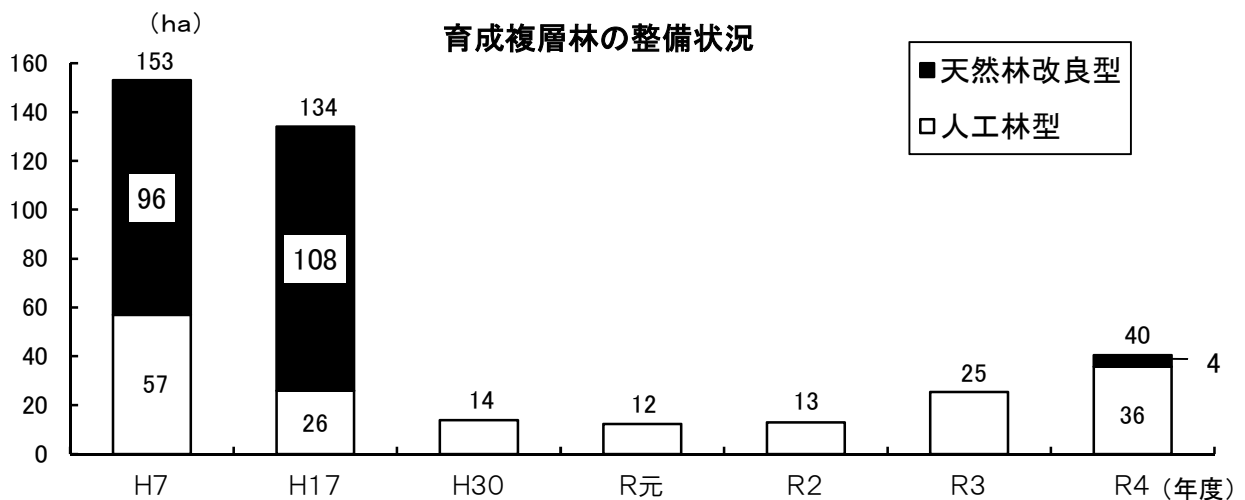
(1) 造林 (関連資料P41)

造林面積は、昭和36年度の9,263haをピークに減少し、近年は横ばいで推移している。造林樹種は、スギ・ヒノキがその主体を占めている。その他の樹種は、昭和52年度までマツが主体であったが、その後は広葉樹が主体となっている。



(2) 育成複層林の整備 (関連資料P46)

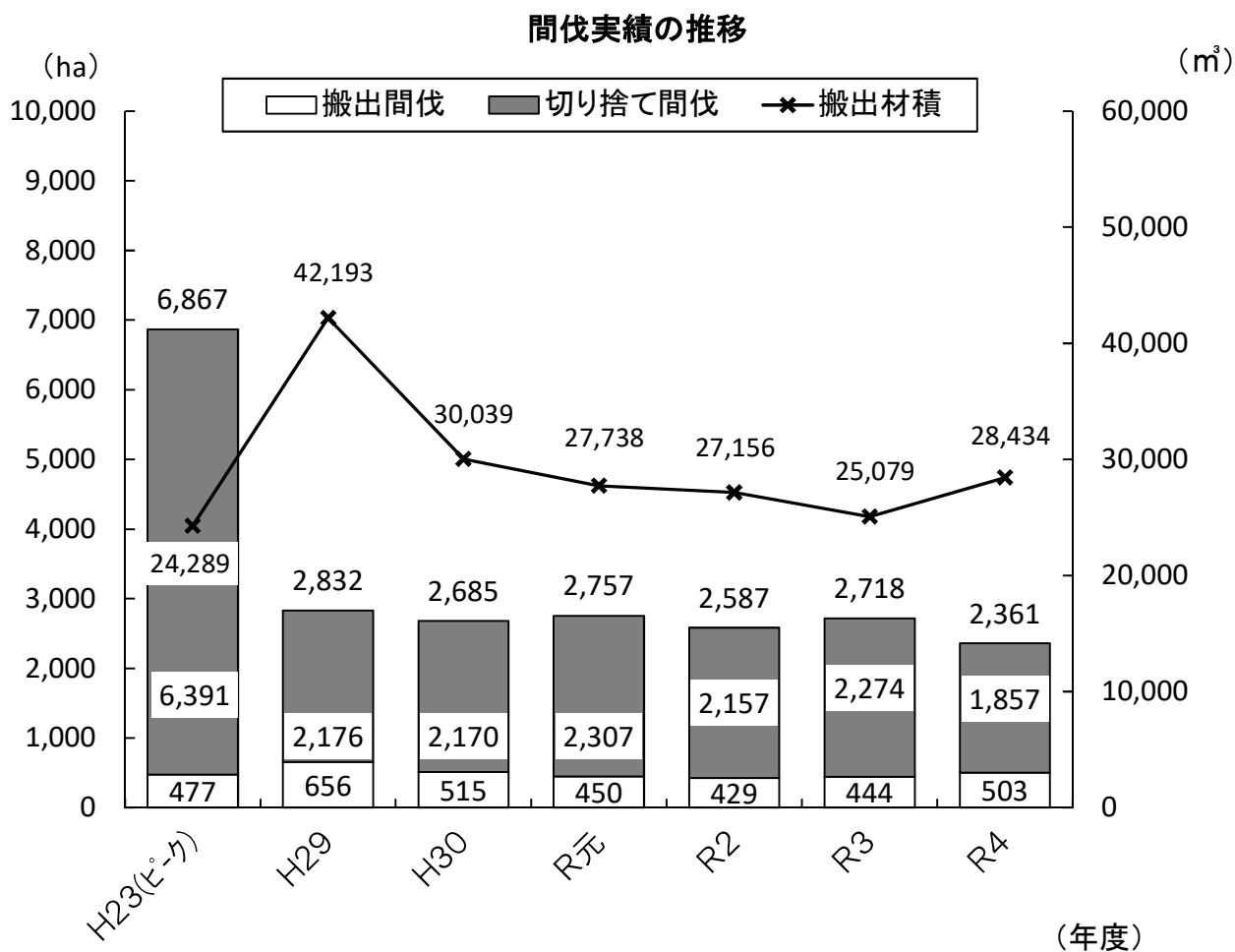
育成複層林の整備は、人工林型と天然林改良型により実施しており、平成27年度頃までは天然林改良型がその多くを占めていたが、それ以降人工林型が主体となっている。



(3) 間伐（関連資料P52）

スギ・ヒノキ等の人工林等の間伐面積は平成23年度の6,867haをピークに減少傾向で推移している。

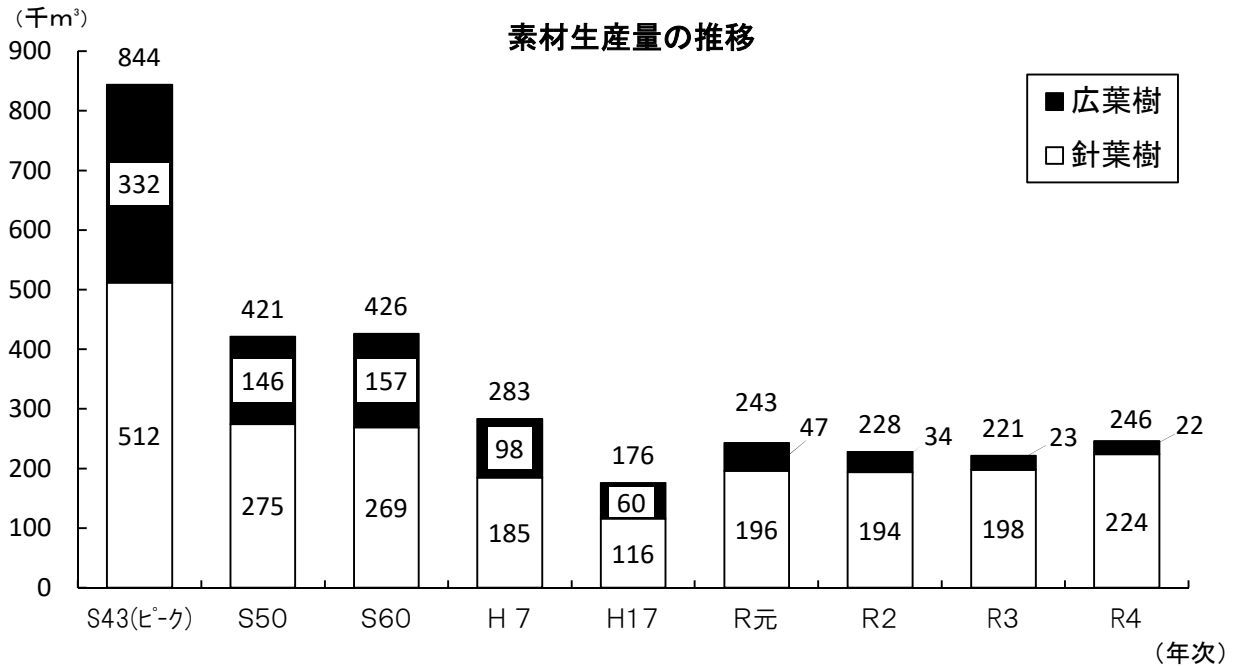
令和4年度は2,361haの間伐を実施している。



3. 林産物生産

(1) 木材生産（関連資料P53, 54）

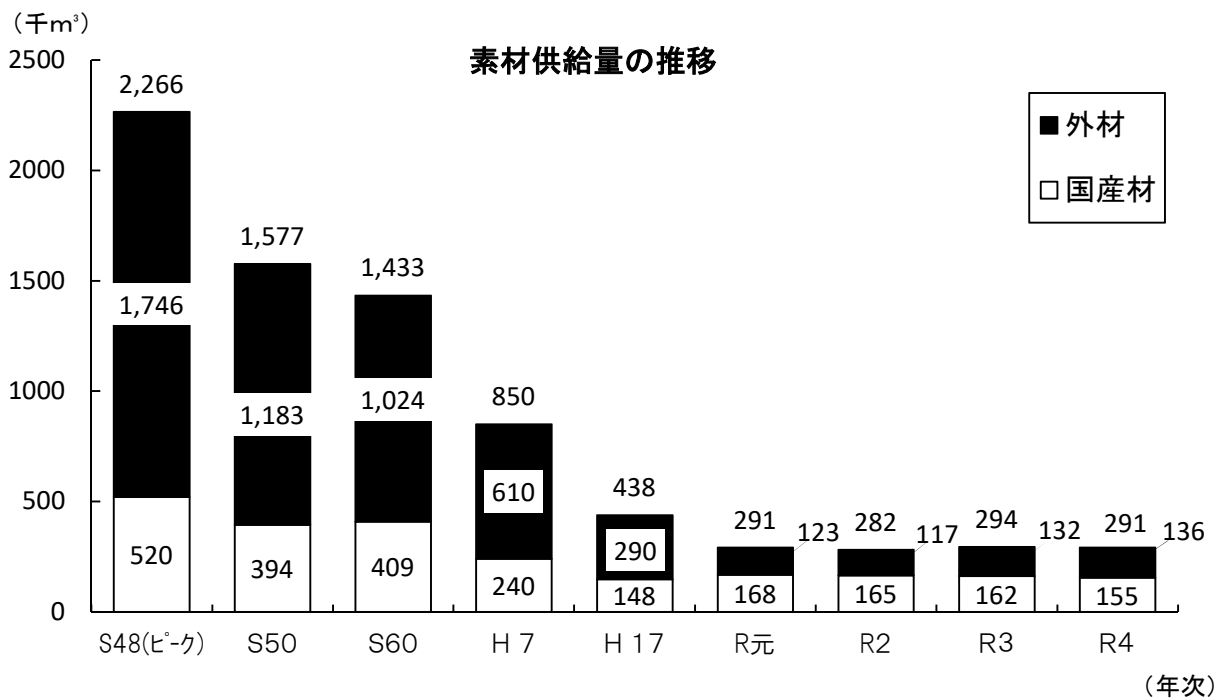
素材生産量は、昭和43年の844千 m^3 をピークに大幅に減少し、近年はピーク時の3割程度で推移している。



イ 素材供給

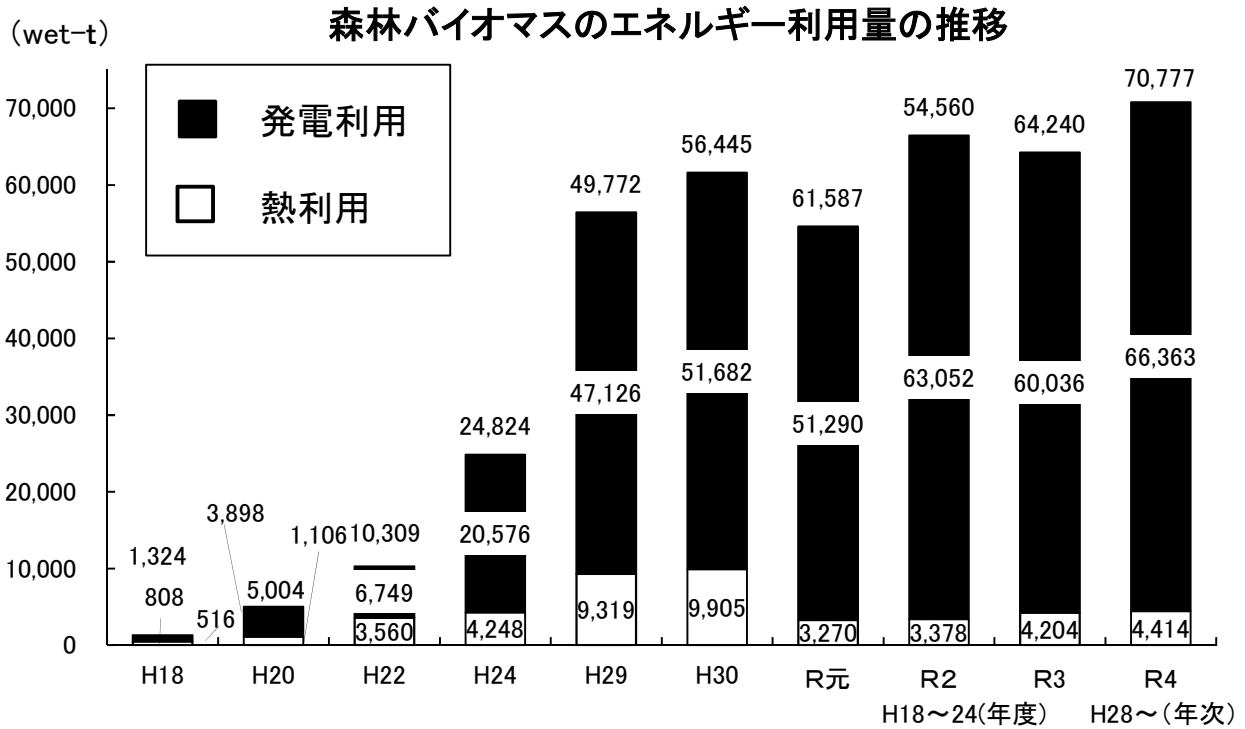
素材供給量は、昭和48年の2,266千 m^3 をピークに大幅に減少し、近年はピーク時の約1割まで減少している。

国産材、外材別では、平成20年までは外材が7割近くを占めていたが、近年、外材輸入量の減少により、平成25年からは国産材の割合が5割を超えている。



(2) 森林バイオマス（関連資料P62）

森林バイオマスのエネルギー利用は、発電利用は増加、熱利用は増加傾向である。

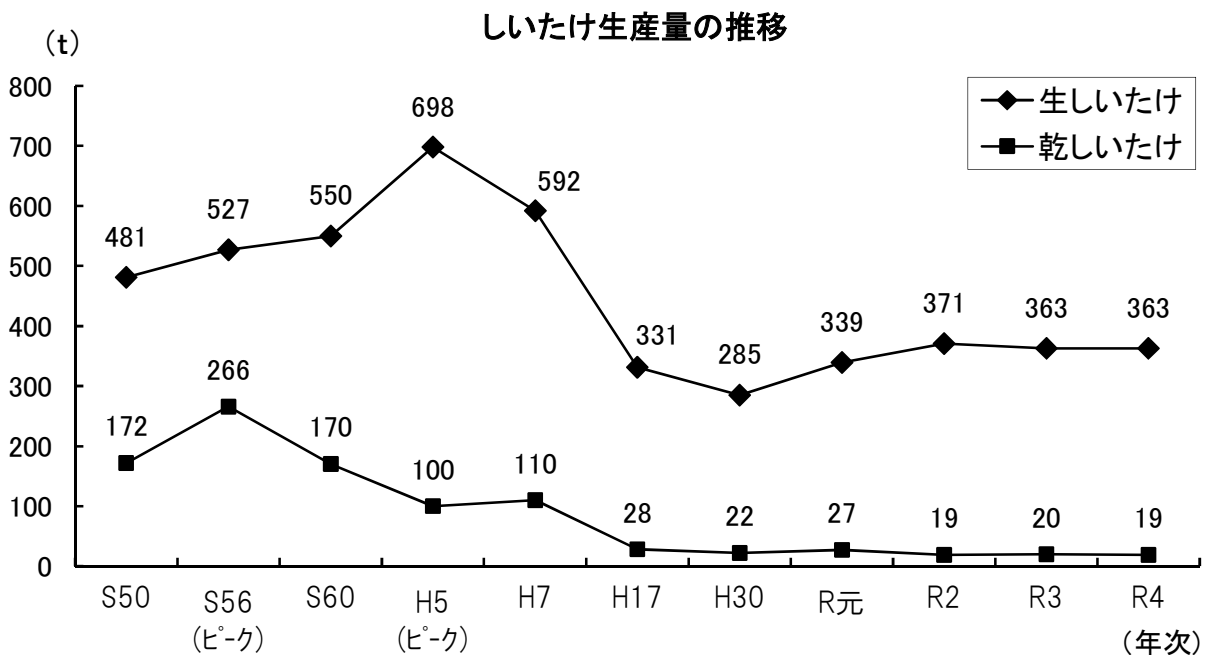


(3) 特用林産（関連資料P63）

ア しいたけ

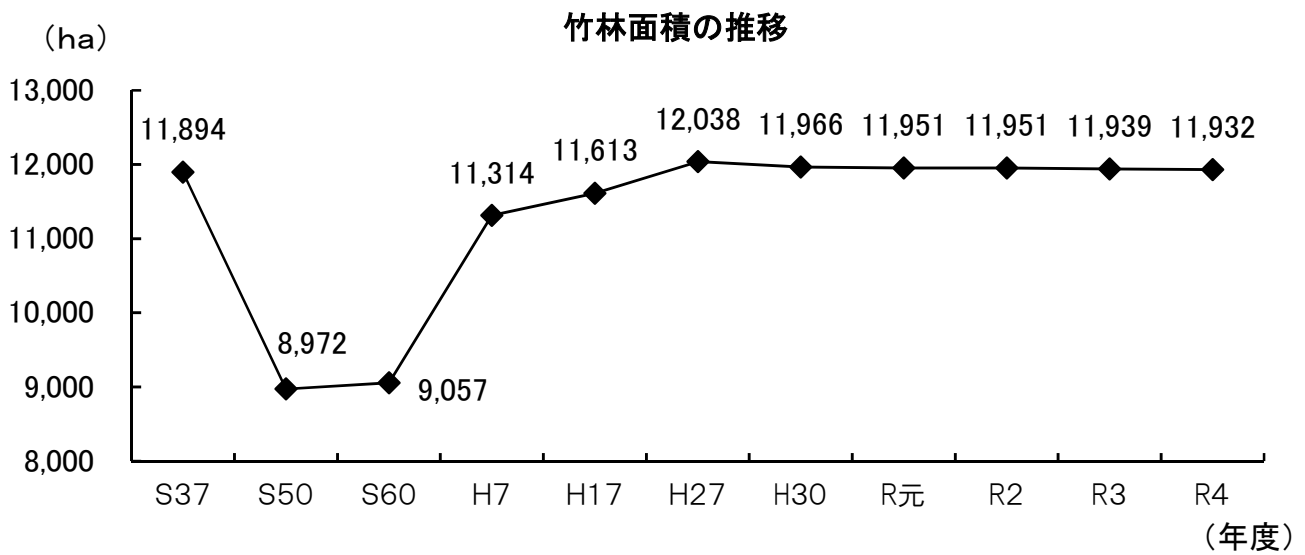
しいたけ生産量は、生しいたけが平成5年の698tを、乾しいたけは昭和56年の266tをピークに、大幅に減少している。

生しいたけはピーク時の5割程度まで減少し、乾しいたけにおいてはピーク時の1割程度まで減少している。

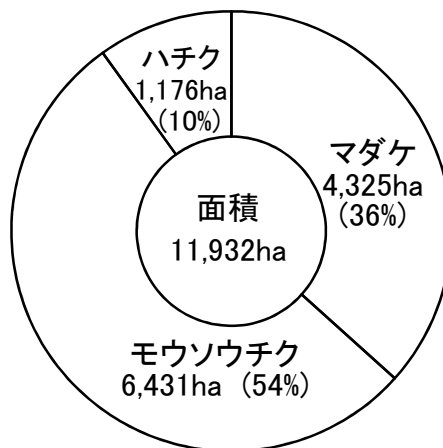


イ 竹林等

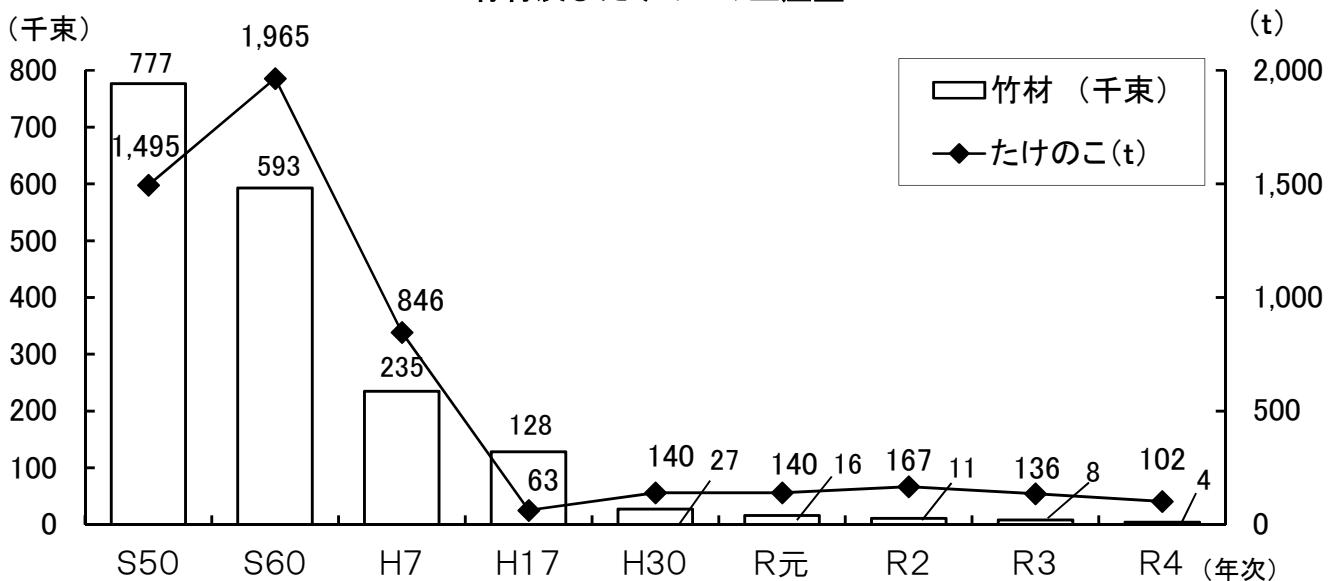
竹林面積は、近年、12,000ha程度で推移している。



種類別竹林面積



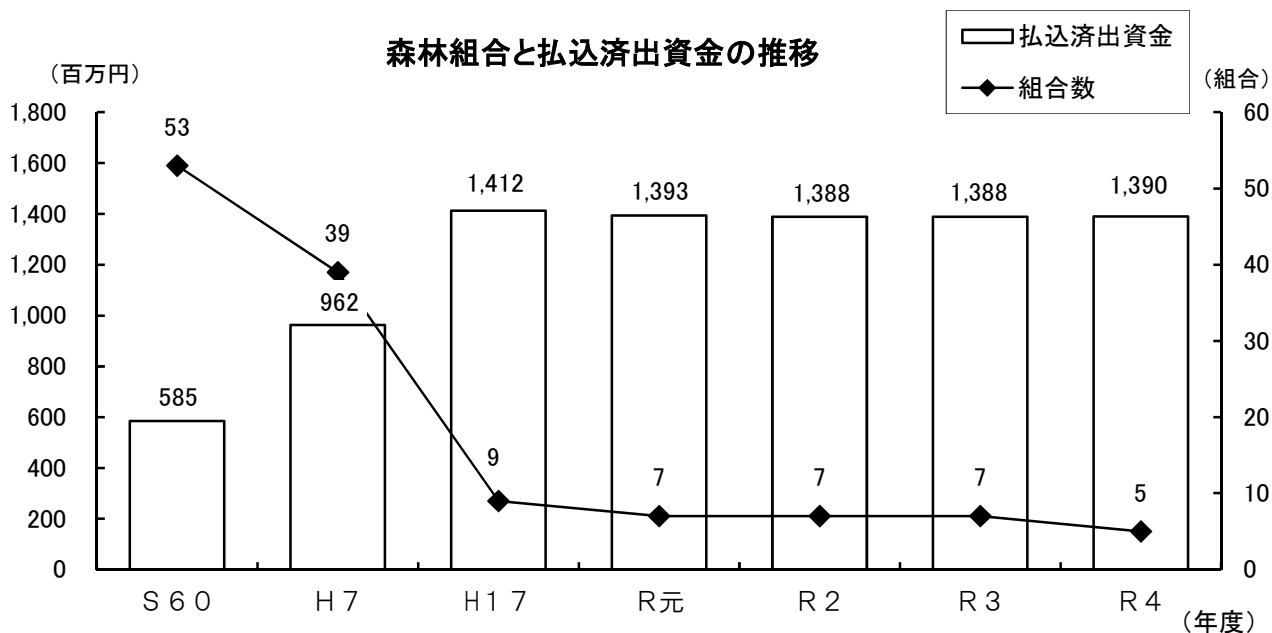
竹材及びたけのこの生産量



4. 森林組合

(1) 森林組合の概況（関連資料P74, 78）

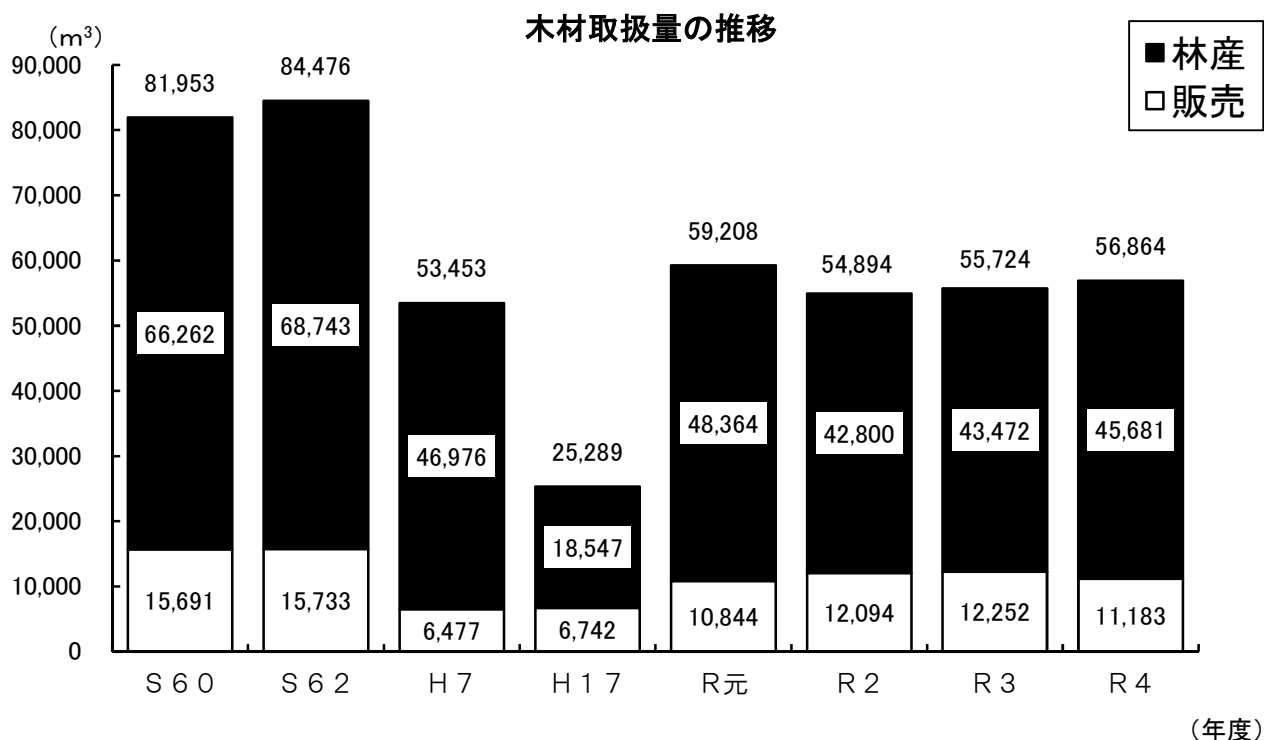
払込済出資金は、ここ数年横ばいで推移している。



区 分	年 度	S60	H7	H17	R元	R2	R3	R4
森林組合数		53	39	9	7	7	7	5
森林組合員数(人)		56,695	55,529	52,134	50,050	49,784	49,476	49,173
組合員森林所有面積(ha)		309,398	305,228	306,105	287,758	298,165	297,031	296,381
払込済出資金(百万円)		585	962	1,412	1,393	1,388	1,388	1,390

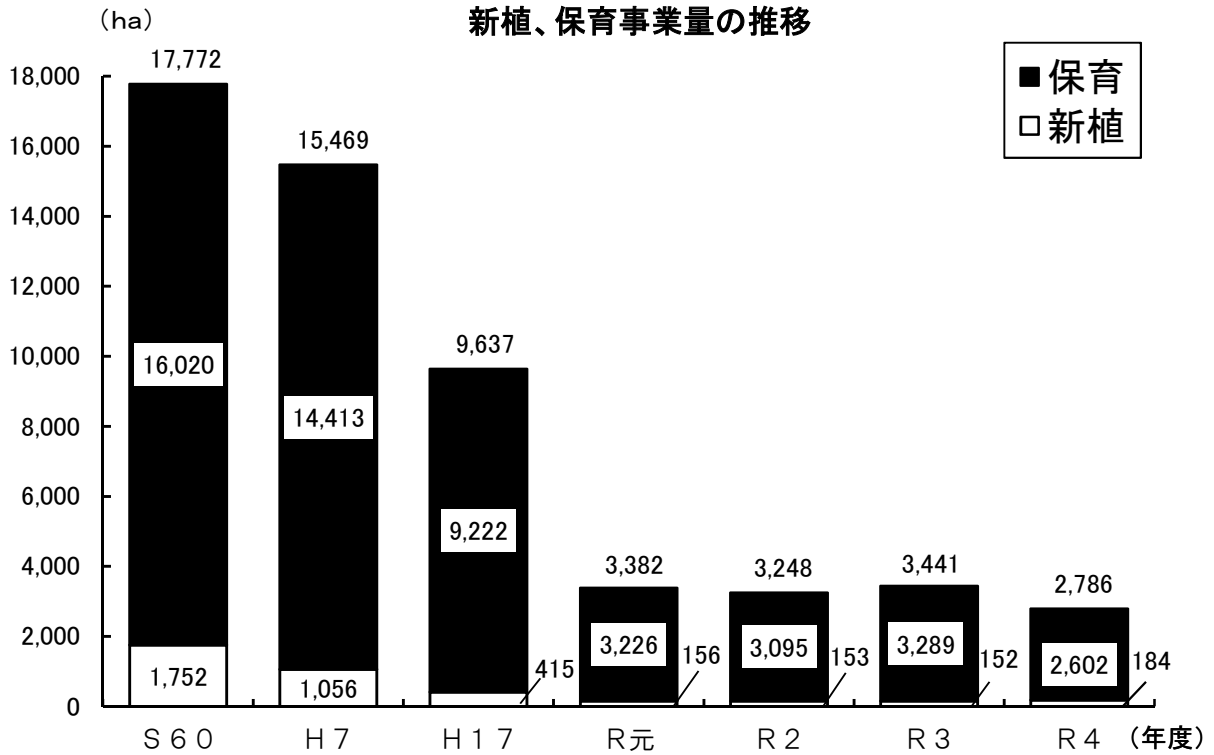
(2) 木材取扱量（関連資料P76, 79）

木材取扱量は、ここ数年概ね横ばいで推移している。



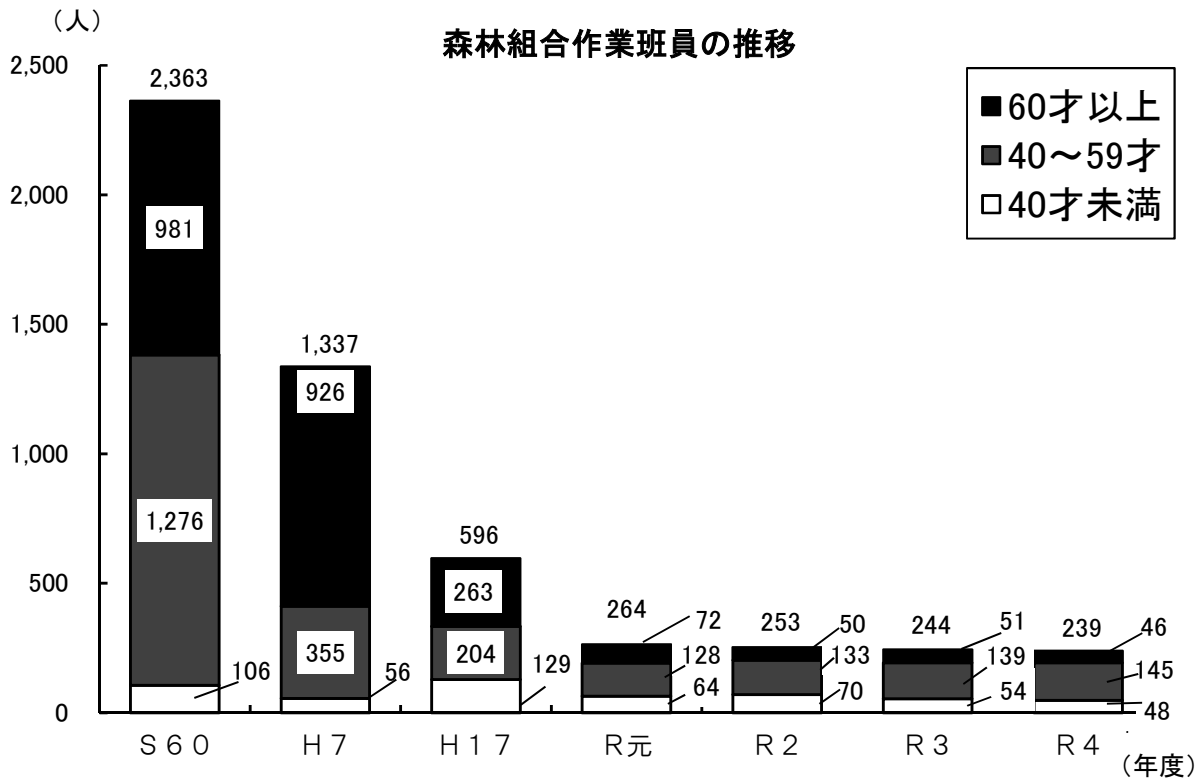
(3) 森林造成事業（関連資料P76,79）

保育の事業量は、減少傾向にある。



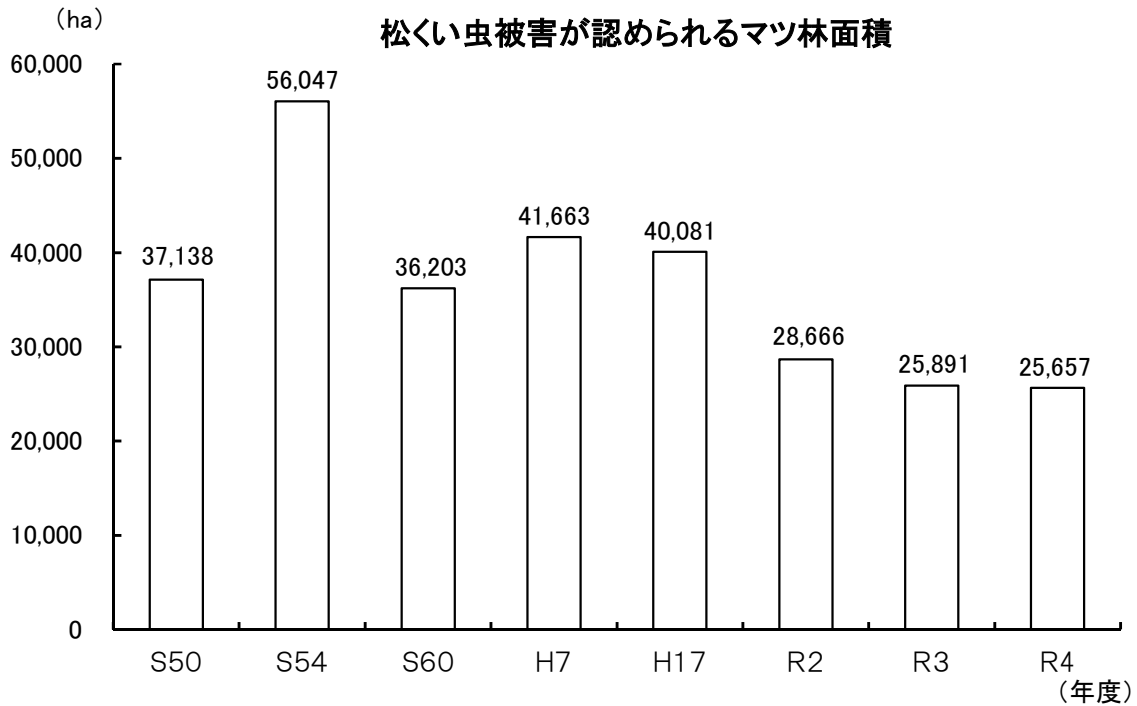
(4) 森林組合作業班（関連資料P77）

作業班員数は、減少傾向にある。

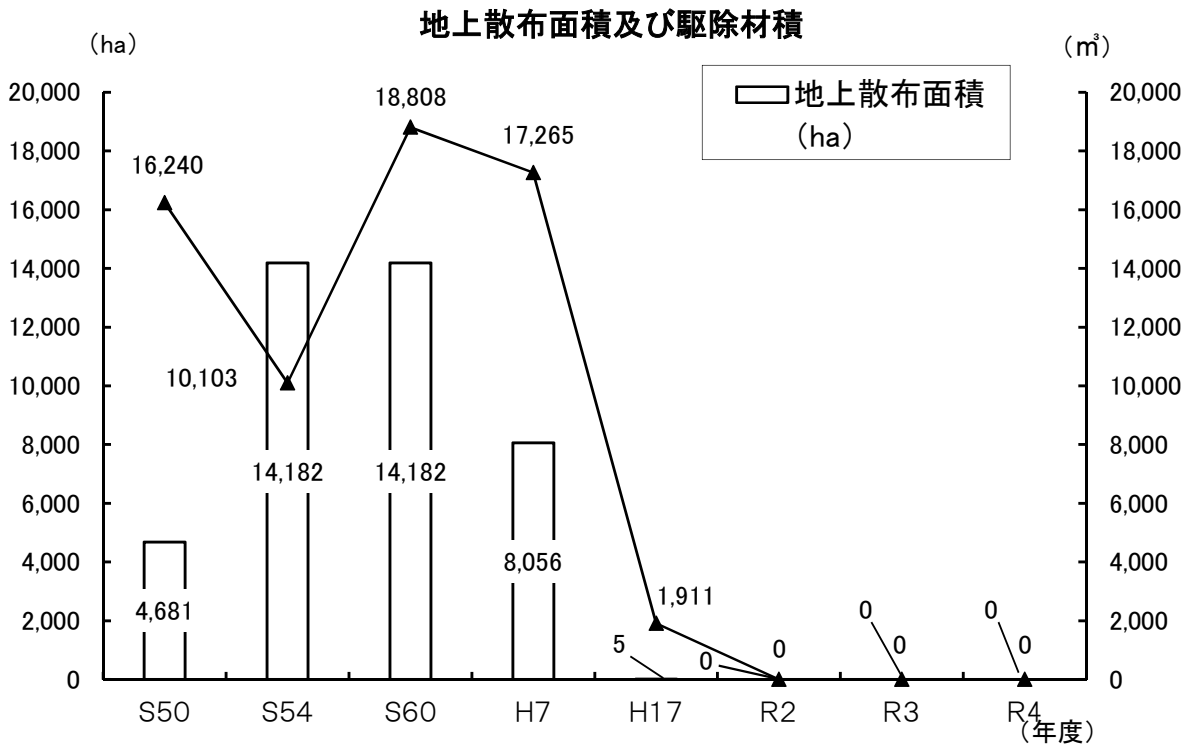


5. 森林被害

(1) 松くい虫被害（関連資料P84）



(2) 松くい虫防除事業の推移（関連資料P81）



6. 林業普及

(1) 林業士及び林業作業士の認定状況（関連資料P89）（人）

区分	指導 林業士	青年 林業士	フォレスト マネージャー	フォレスト リーダー	フォレスト ワーカー	計
認定者数	69	4	7	56	138	274

作業士の認定者数は事業体支援班資料による。

(2) 主要林業機械の保有状況（関連資料P86）

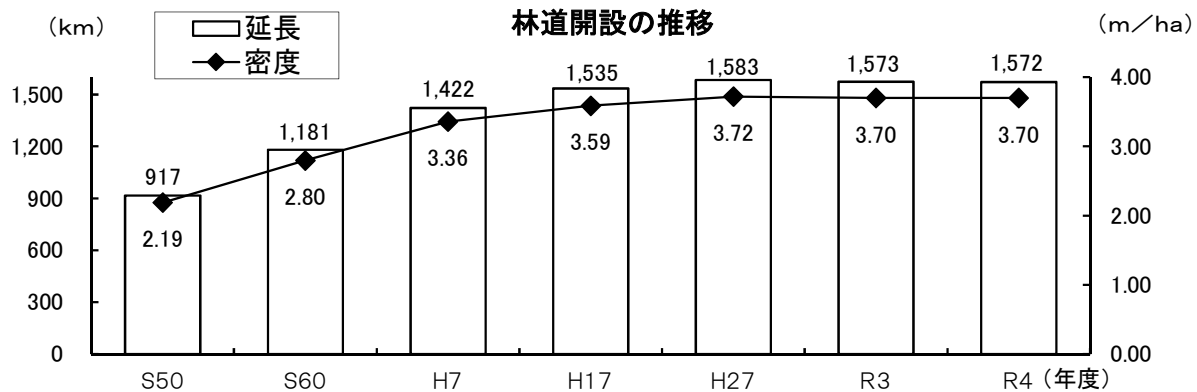
(台)

年度 機械種別	S50	S60	H7	H17	H27	R元	R2	R3	R4
チェーンソー	5,431	12,324	12,029	10,534	5,905	4,108	3,874	2,577	-
刈払機	5,448	8,732	11,783	13,074	6,489	3,082	2,898	2,038	-
プロセッサ	-	-	2	10	11	11	11	11	14
ハーベスタ	-	-	1	1	15	26	29	30	30
フォワーダ	-	-	-	7	23	40	45	26	60
スイングヤード	-	-	-	6	14	18	20	19	15
集材機	649	520	437	282	177	106	110	-	-
運材機	181	359	479	292	227	147	155	-	-

7. 林道等

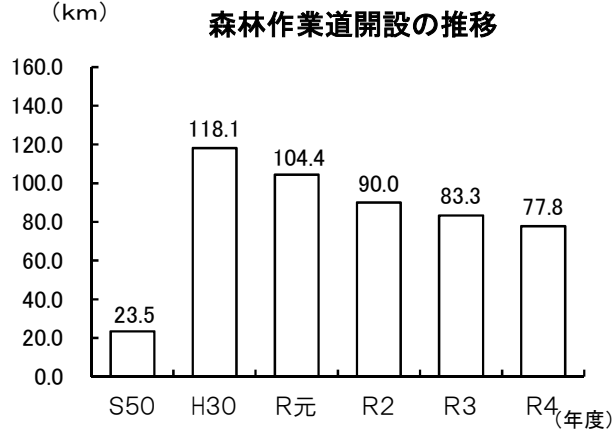
令和4年度は、林道の開設実績はなく、林道から市道への編入等により総延長は1,572kmとなった。
また、作業道(路)については、約78kmが開設された。

(1) 林道（関連資料P87）



(2) 森林作業道（関連資料P50）

(km)



主要事業別森林作業道開設の推移

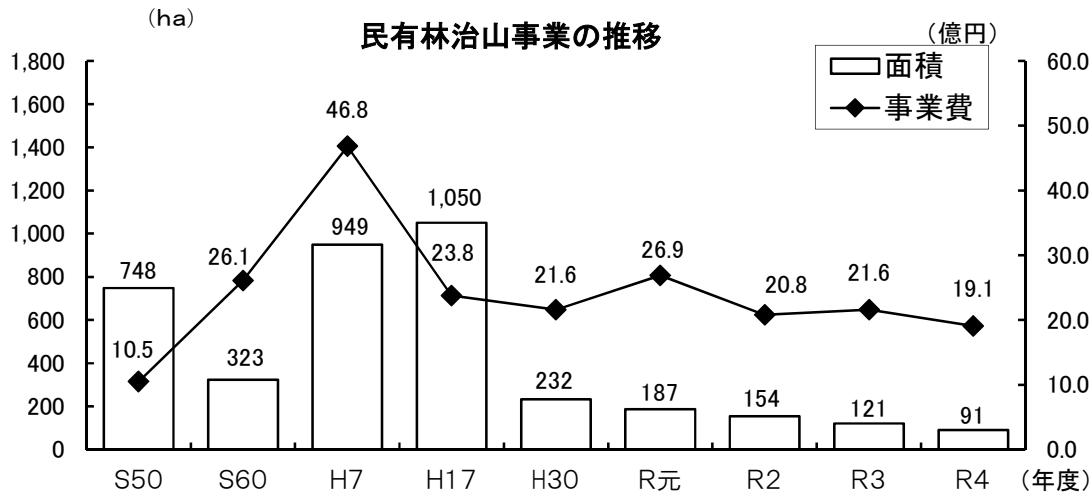
(単位:m)

	造間	林伐	林業構造 改善	特用林産	合計
S50	20,777	1,373		1,308	23,458
H30	118,096				118,096
R元	104,438				104,438
R2	89,963				89,963
R3	83,319				83,319
R4	77,793				77,793

8. 治山

(1) 治山事業の推移 (関連資料P97)

治山事業は、森林整備保全事業計画(令和元年度～令和5年度)及びやまぐち農林水産業振興計画(令和4年度～令和8年度)に基づき計画的な事業の推進に努めており、平成30年度に発生した災害に対する復旧事業と併せ126箇所(面積91ha、事業費19.1億円)を実施した。



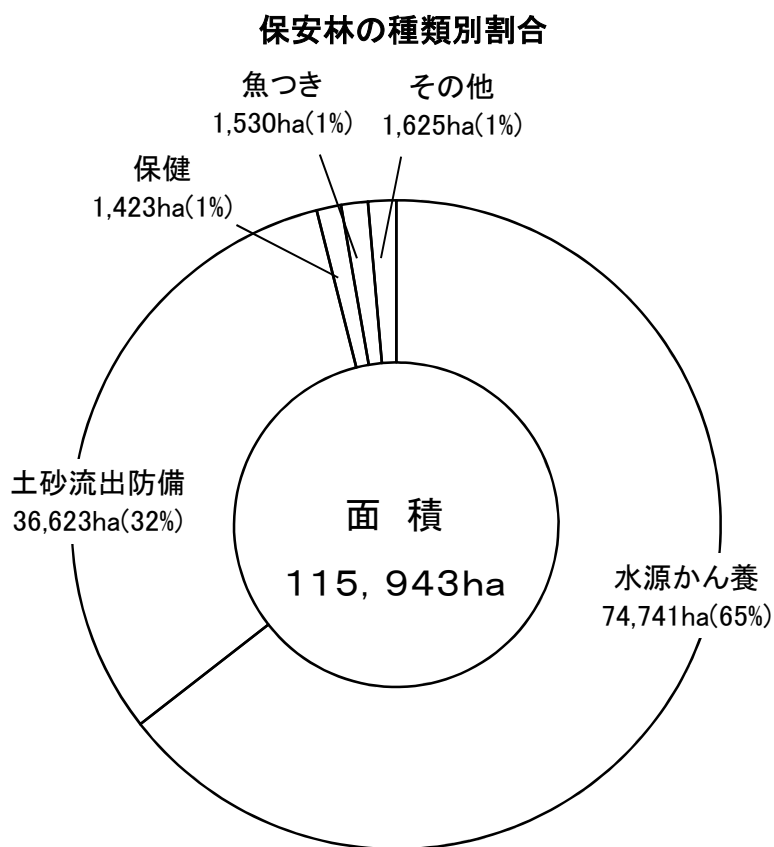
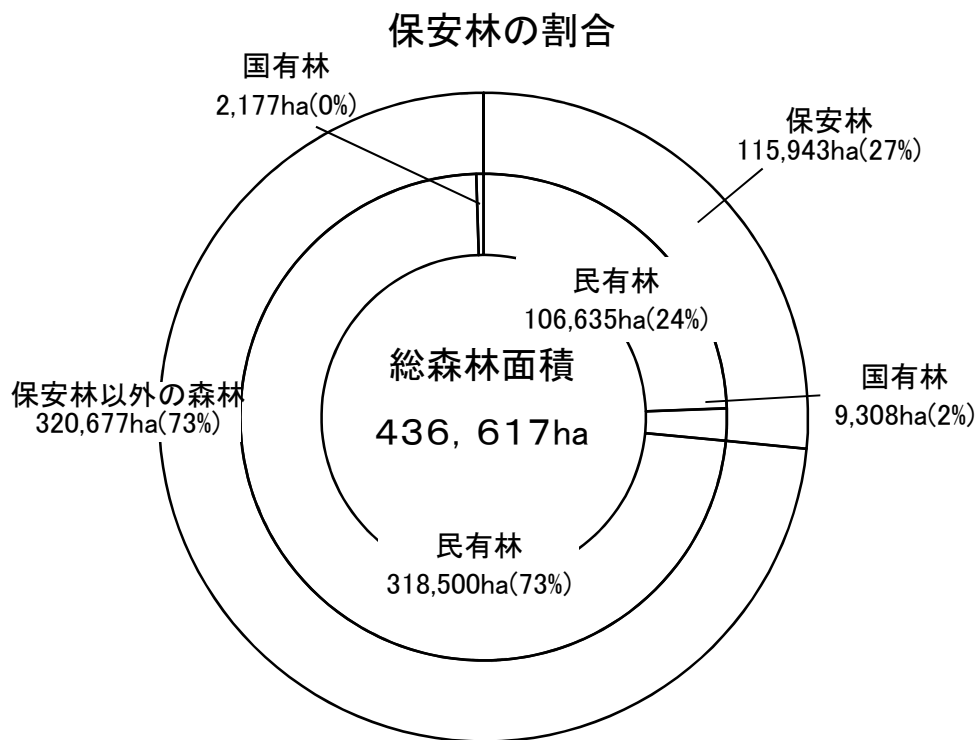
(2) 生活環境保全林 (関連資料 治山林道班資料)

生活環境保全林の概要

地区名	市 町	施行年度	区域面積	地区の愛称
			(ha)	
霜降山	宇 部 市	S47～49	200.00	霜降山市民の森
田床山	萩 市	S50～52	100.00	田床山市民の森
千坊山	光 市	S51～53	120.00	市民の森
太華山	周 南 市	S53～55	40.00	
長野山	周 南 市	S54～56	30.00	長野山緑地公園
天神山	防 府 市	S55～57	16.56	天神山森林公園
国見台	下 関 市	S56～58	62.00	国見台森林公園
菩提寺山	山陽小野田市	S57～59	30.00	菩提寺山市民の森
兄弟山	山 口 市	S58～60	13.00	おとどいやま森林公園
青海島	長 門 市	S59～61	30.00	青海島森林公園
嵩山	周防大島町	S60～62	42.00	長寿の森・嵩山森林公園
琴石山	柳 井 市	S61～63	18.60	琴石山グリーンパーク
笠戸高山	下 松 市	S62～H元	24.00	
烏帽子岳	周 南 市	S63～H2	34.80	烏帽子岳ウッドパーク
永安	岩 国 市	H元～2	8.50	周東町いこいの森
深坂	下 関 市	H元～3	46.10	サンサンフォレスト深坂
八丁峠	萩 市	H元～3	15.00	旭水の森
犬鳴	山 口 市	H2～3	18.50	犬鳴公園
高照寺山	岩 国 市	H2～4	62.00	高照寺山グリーンパーク
大浦岳	下 関 市	H3～4	41.83	大浦岳森林公園
十種ヶ峰	山 口 市	H4～5	29.80	
桜山	美 祢 市	H4～6	28.02	桜山森林公園
塔ヶ森	岩 国 市	H5～7	13.10	塔ヶ森展望公園
青海島	長 門 市	H6～7	10.00	
宇生	萩 市	H7～9	56.70	やすらぎの森宇生
右田ヶ岳	防 府 市	H5～11	492.10	
華山	下 関 市	H8～11	36.80	
高瀬湖	周 南 市	H10～13	24.37	
水尻	長 門 市	H12～14	30.20	いこいの森三隅

9. 保安林（関連資料P110）

地域森林計画に基づき、計画的な整備に努めている。令和4年度末の保安林面積は、総森林面積の27%である。



10. その他

(1) 地域森林計画樹立状況（関連資料：地域森林計画書）

（単位：ha）

森林計画区	事務所	計画期間	民有林面積		
			対象森林	対象外森林	計
岩徳	岩国・柳井・周南	令和4年～14年	149,786	480	150,266
萩	萩	令和5年～15年	64,634	15	64,649
豊田	下関・長門	平成31年～40年	72,828	383	73,210
山口	山口・美祢	令和2年～11年	136,812	199	137,011
計			424,059	1,076	425,135

(2) 保有規模別林家数（関連資料：農林業センサス）

（単位：戸、％）

区分	2005年 （平成17年）		2010年 （平成22年）		2015年 （平成27年）		2020年 （令和2年）		R2/H27	
	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数の 増減率	
総数	28,119	100.0	28,366	100.0	26,457	100.0	22,743	100.0	86	
保有 階 層 別	1～5ha	21,268	75.6	21,333	93.8	19,744	86.8	16,904	74.3	86
	5～20ha	5,872	20.9	5,969	26.3	5,667	24.9	4,950	21.8	87
	20～50ha	792	2.8	833	3.0	808	3.0	686	3.0	85
	50ha以上	187	0.7	231	1.0	238	1.1	203	0.9	85

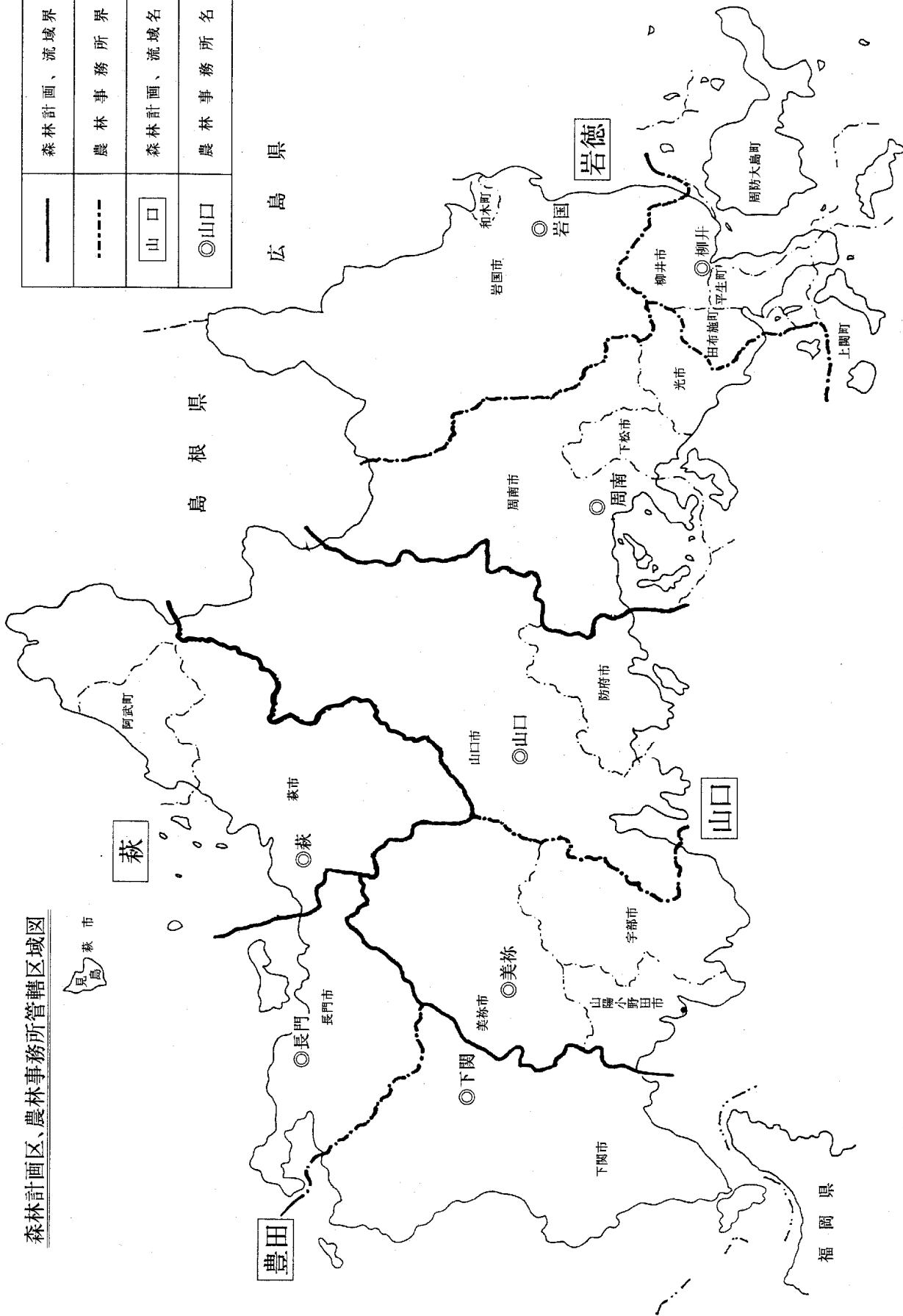
注：1「林家」とは保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

(3) 森林経営計画の認定状況（関連資料P33）

区分	件数		面積	
計	97	件	85,370	ha
林班計画	3	件	320	ha
区域計画	71	件	10,214	ha
属人計画	23	件	74,836	ha

森林計画区、農林事務所管轄区域図

——	森林計画、流域界
----	農林事務所界
山口	森林計画、流域名
◎山口	農林事務所名



自然環境保全施設等整備状況図

